

日本人口学会第41回大会

日本人口学会（会長：村松稔）の第41回大会は、平成元年6月2日（金）と3日（土）の両日にわたり、会津若松市文化福祉センターにおいて開催された。本大会は、福島県立会津短期大学の内海健寿教授を運営委員長として、同大学児玉亮教授、福島県立医科大学南條善治教授、本研究所高橋重郷を委員とする大会運営委員会の多大な努力と会津若松市の協力により行われた。なお会員の参加は110名を超え、活発な討議が行われた。

本大会の自由論題、共通論題、シンポジウムの題名及び報告者は次のとおりである。

○自由論題報告

1. 社会指標における人口統計の利用……………嵯峨座晴夫（早稲田大学）
2. 人口高齢化の要因について……………石川 晃（人口問題研究所）
河野 稔（人口問題研究所）
3. 高齢人口移動の理由に関する一考察……………坂井 博通（人口問題研究所）
4. 20世紀初頭の日本の都市人口……………大友 篤（宇都宮大学）
5. 将来人口推計の新視点……………安川 正彬（慶応義塾大学）
6. 乳幼児生存仮説の検証……………大塚 友美（日本大学）
7. ポリビア・アンデス高地および低地住民の出生力……………柏崎 浩（東京大学）
高坂 宏一（杏林大学）
8. 我国における避妊器具・薬の供給について……………佐藤龍三郎（国立公衆衛生院）
9. Locus of Controlと日本人女子の結婚および妊娠……………大谷 憲司（人口問題研究所）
10. 女子の労働参加と出生変動……………小川 直宏（日本大学）
11. オーストラリアにおける中国系移民……………長山 光治（城西大学）
12. 中国の人口移動と都市化……………早瀬 保子（アジア経済研究所）
13. J. P. Süßmilch と L. A. J. Quetelet との学問的つながりについての
批判的研究（その3）……………飯淵 康雄（琉球大学）
14. 出生促進政策の有効性……………小島 宏（人口問題研究所）
15. 人口転換理論の再構築……………黒田 俊夫（日本大学）
16. PMI（50歳以上死亡割合）の人口学的意義について……………勝野 真人（国立公衆衛生院）
17. 成人病の粗死亡率から訂正死亡率を推計する試み……………郡司 篤晃（東京大学）
18. 我が国のセンテナリアン生命表……………花田 恭（人口問題研究所）
19. 小地域生命表のベイジアンアプローチ……………府川 哲夫（厚生省統計情報部）
清水 時彦（厚生省統計情報部）
20. 死亡率の変化とライフサイクル変数の変動……………高橋 重郷（人口問題研究所）
21. 家族構造変化の分析——農村における世帯構成の変化の分析——……………松下敬一郎（龍谷大学）
22. 戦後日本における離婚傾向の推移……………津谷 典子（日本大学）
23. 人口学的事象による日本人のライフコース……………渡邊 吉利（人口問題研究所）
24. コウホートデータによる女子のライフコースパターン……………中野 英子（人口問題研究所）
25. 「宗門改帳」データベース（DANJURO）を用いた陸奥国会津一農村
の人口動態……………川口 洋（筑波大学）
26. 日本における前工業化社会の人口政策……………石原 正令（関東学園大学）
27. 明治期の日本の人口曲線（3）……………篠崎 吉郎（帝塚山大学）
28. 明治期の地域別出生力について……………高橋 真一（神戸大学）
29. 明治後期の日本の人口……………菊池 芳樹（盛岡大学）
30. 日本の産業構造変化と人口移動……………渡辺真知子（嘉悦女子短期大学）
31. 親子の居住関係と移動：第2回全国人口移動調査結果から……………廣嶋 清志（人口問題研究所）
32. 農業就業人口の推計……………唯是 康彦（千葉大学）
三浦 洋子（千葉経済大学）

33. 東京における女性と老人の通勤特性……………大江 守之(清 水 建 設)

○共通論題〔A部会〕

「18世紀ヨーロッパの人口と人口思想」

<組織者> 石 南国(城 西 大 学)

<司 会> 吉田 忠雄(明 治 大 学)

1. ジュースミルヒの人口思想……………内海 健寿(福島県立会津短期大学)

2. 18世紀ヨーロッパの人口史的背景……………原 剛(城 西 大 学)

3. ジュースミルヒの『神と秩序』とその思想史的背景……………岡田 實(中 央 大 学)

<討論者> 大淵 寛(中 央 大 学)

兼清 弘之(明 治 大 学)

○共通論題〔B部会〕

「死亡・健康研究のフロンティア」

<組織者> 小林 和正(日 本 大 学)

<司 会> 鈴木 継美(東 京 大 学)

1. 死亡・健康統計調査の分析の課題……………花田 恭(人口問題研究所)
稲垣 誠一(厚生省統計情報部)

2. 健康度への公衆衛生学によるアプローチ; 糖尿病発症に及ぼす出生力
の影響……………正木 基文(昭 和 大 学)

3. 死亡率曲線の数理モデル; 全死因および主要死因……………南條 善治(東 北 学 院 大 学)

重松 峻夫(福 岡 大 学)

吉永 一彦(福 岡 大 学)

<討論者> 高橋 重郷(人口問題研究所)

勝野 真人(国立公衆衛生院)

○シンポジウム

「21世紀の日本の家族」

<組織者> 河野 稠果(人口問題研究所)

<司 会> 宮川 實(東京女子大学)

1. 家族変化のトレンド……………阿藤 誠(人口問題研究所)

2. 家族構造の地域差……………清水 浩昭(人口問題研究所)

3. 国際比較からみた日本の家族……………坪内 良博(京 都 大 学)

<討論者> 小島 宏(人口問題研究所)

津谷 典子(日 本 大 学)

○会長講演

「医学と人口研究」

村松 稔会長

(金子武治記)

日本人口学会関東地域部会第3回研究報告会

1989年6月24日(土)午後2~5時, 東洋大学浦水会館4階会議室で日本人口学会関東地域部会の第3回研究報告会が岡田實関東地域部会担当理事(中央大学)と小苺米清弘運営委員長(東洋大学)の御尽力によって開催された。まず小苺米委員長の進行の下に岡田實理事が開会の辞を述べ, 次に兼清弘之座長(明治大学)の司会の下に以下の二つの報告が行われた。

1. 人口変動と女性の地位……………嵯峨座晴夫(早 稲 田 大 学)

2. 新婚夫婦の居住形態とその変化の決定要因……………小島 宏(人口問題研究所)

悪天候にもかかわらず, 非会員を含む約50名の出席者があり, 活発な質疑応答が行われた。

(小島 宏記)